

学校教育目標

人間性豊かで主体性に富んだ児童の育成

- ①よく考え、進んで学ぶ子ども (知育)
- ②きまりを守り、思いやりのある心豊かな子ども (徳育)
- ③じょうぶでたくましく、最後までやりぬく子ども (体育)

発行元 甲斐市立竜王東小学校
 発行日 平成22年5月31日
 担当 校長 久保田尊文

修学旅行が無事終了しました (5/12~14)

一日目は、鎌倉の自主見学でした。班ごとに計画したコースを迷いながらも見学することができました。鶴丘八幡宮では、折れた大銀杏から芽が出ている様子も見ることができました。班ごとの自主見学を通して、班の人と協力すること、時間を守ることの大切さなどを学びました。



鎌倉 鶴丘八幡宮の前で



水爆実験の被害にあった第五福竜丸の前で

二日目の第五福竜丸の見学では、いつもの年より丁寧な説明を受け、核兵器のない世界の平和について学びました。

いろいろなことに挑戦した林間学校 (5/25~26)

5年生にとって初めての宿泊行事である林間学校が八ヶ岳少年自然の家(清里)で行われました。川俣川絵図ハイク、(登山的な要素も入っています)野外炊事、ナイト追跡、冒険ハイクなど普段なかなかできないものに挑戦しました。体力を試したり、ご飯を炊いたりカレーをつくらしたりという経験し、多くのものを得たと思います。



鎌倉の大仏の前で



吐竜(とりゅう)の滝の前で

1年生の給食試食会 (5/13) が行われました (保護者の感想)

『おいしい給食をありがとうございました。子供達は、美味しくて栄養バランスの良い給食を毎日食べられるなんて幸せですね。我が家の夕飯は、どうしても肉が多くなってしまいがちなので、今日のメニューを是非、参考にさせていただこうと思います。去年(?)給食のレシピ集をいただきましたが、また機会があればお願いしたいです。子供達が頑張って給食の準備をしている姿も可愛らしかったです。それぞれの役割分担を頑張っていましたね。家庭においても、ご飯やみそ汁をよそうお手伝いを楽しみながらさせていこうと思います。』

※給食指導から学ぶことは多いと思います。家庭での食事のお手伝いも大切なことだと思います。

自尊感情をもてる児童に

先日、山梨県教育委員会主催の道徳研修会に参加しました。その研修会の中で、自分に自信をもてない子どもが増えているという話がありました。自分はたいした人間ではない、自分は必要とされていないと考える子どもが多いというのです。経済的にも困難な時代を迎えている現在を映しているのでしょうか。

子どもたちは、やがて様々な仕事に就いていきます。その仕事は、巡り巡って必ず人の役にたちます。必要とされていない人などいません。一人ひとり自信をもちたくましく生きていく人になるよう、上記のような体験学習を大切にしながら、学校と家庭が連携していきましょう。

地味探のひ